

博士前期課程芸術専攻

専攻共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB031	西洋美術史-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史を中心に、イタリア・ルネサンスまでの作例に言及し、講義を行う。西洋美術史の特徴について考える。とりわけ、ギリシア神話とキリスト教聖書を主題とする作品について講じ、西洋美術史における宗教観、世界観と美術との関係を探る。 授業計画:(1) 西洋美術史の特質、(2) エクセキアスとマンテーニャ、(3) ヴェローナ、サンゼノ教会堂、(4) ジョット、(5) バドヴァ、スクロヴェーニ礼拝堂1、(6) バドヴァ、スクロヴェーニ礼拝堂2、(7) アレクサンドロス美術、(8) アレクサンドロス・モザイク、(9) ビザンティン美術史、(10) 神と人、人と人の対面	2017年度までの「西洋美術史A-1」に相当。西暦偶数年度開講。OATT011と同一。
01EB034	西洋美術史-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西欧近世における南北の美術と近代における受容について、文字史料と視覚資料の参照と分析を通じた理解を深める。 授業の概要:西洋近世の北方およびイタリア美術の具体的な作例について多面的に講述する。 授業計画:(1) 授業目標および内容に関する説明、(2) 中世末期の西欧美術、(3) 近世西欧美術の南北交流1 ジョルジョ・ヴァザーリ『列伝』、(4) 近世西欧美術の南北交流2 バルトロメオ・ファツィオ『名士録』、(5) 近世西欧美術の南北交流3 カーレル・ファン・マンデル『絵画書』、(6) 近世西欧美術の受容様態1 プリュウッヘからヴェネツィアへ、(7) 近世西欧美術の受容様態2 ローマからアントウェルペンへ、(8) 近代西欧美術の展開1 「英国美術秘宝展」(1957)、(9) 近代西欧美術の展開2 「プリミティブ・フラマン展」(1902)、(10) まとめ	2017年度までの「西洋美術史B-2」に相当。西暦偶数年度開講。OATT012と同一。対面
01EB035	日本美術史	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C316	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術を編年的に理解するため、代表的作例を鑑賞し、時代様式を理解するとともに、どのような作品が評価されてきたのかを、時代背景と共に考察する能力を養うことを目的とする 授業の概要:各時代の代表作を取り上げ、講述し、作品の生まれた時代背景等、多面的に考察する。 授業計画:(1) 仏教伝来と法隆寺、(2) 東大寺・興福寺の美術、(3) 木彫仏の成立、(4) 密教の美術、(5) 浄土教の美術、(6) 鎌倉時代の美術、(7) やまと絵の成立、(8) 神道美術、(9) 似絵と頂相、(10) 禅宗美術	西暦奇数年度開講。OATT021と同一。対面
01EB041	美術論	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C316	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:美術と社会との関わりについて学び、作品の制作と発表に役立つ美術理論を理解することを目標とする。 授業の概要:欧米と日本のアーティストコロニー(芸術家村)を取り上げ、芸術家における「場」の問題について考察する。 授業計画:(1) 芸術家の集団肖像画、(2) バルビゾン派の画家たち、(3) フランスの印象派とセーヌ河畔の村、(4) アメリカの印象派とオールド・ライム、(5) 北欧の印象派:特にスケーエンについて、(6) ドイツの芸術家村ヴォルフスブエーデ、(7) グレー村の日本人画家たち、(8) エコール・ド・パリとモンパルナスの異邦人たち、(9) 東京の芸術家村1、(10) 東京の芸術家村2	2017年度までの「美術論B-1」に相当。西暦奇数年度開講。OATT031と同一。対面
01EB043	芸術教育論A-1	1	1.0	1・2	春AB	火4	5C301	吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術教育批評の理論と方法について学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。 授業の概要:テキストに基づいて芸術教育実践の観察批評を実際に行う理論と方法の基礎を学ぶ。図画工作、美術、工芸の各教科の実践について、映像資料や、学校教員を招いての特別講義等を通して理解を深める。 授業計画:(1) 芸術教育批評の考え方と方法1(記述・分析)、(2) 芸術教育批評の考え方と方法2(解釈・主題化)、(3) 芸術教育批評の事例、(4) 映像批評等を活用した学習場面の把握・記述、(5) 映像批評等を活用した学習場面の解釈、(6) 授業実践の例 造形あそび等、(7) 授業実践の例 絵や立体等、(8) 芸術教育批評の視点を用いた現象分析の実際、(9) 学校における授業実践の現地観察の方法、(10) 学校における授業実践の現地観察の成果と課題	西暦奇数年度開講。OATT041と同一。対面
01EB044	芸術教育論A-2	1	1.0	1・2	秋ABC	随時		吉田 奈穂子	芸術教育批評の方法を、学校での実地演習等を通して学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。	西暦奇数年度開講。対面 芸術教育論A-1を合わせて履修すること。

01EB047	書論特講I	1	1.5	1・2	春ABC	水2	6A405	菅野 智明	書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	西暦奇数年度開講。 対面
01EB048	書論特講II	1	1.5	1・2	秋ABC	水2	6A405	菅野 智明, 高橋 佑太	書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	西暦奇数年度開講。 対面
01EB049	書鑑賞論特講I	1	1.5	1・2					書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	西暦偶数年度開講。
01EB050	書鑑賞論特講II	1	1.5	1・2					書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	西暦偶数年度開講。 対面
01EB081	創造的復興：ローカルデザイン特別演習I	2	2.0	1	春AB	金5,6	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暉, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ：地域・社会における課題解決を考えることで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけることを目的とする。 授業の概要：地域において、地域再生に向けたプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画：(1) ガイダンス、(2) プレインストリーミング、班分け、課題抽出、(3) 課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4) 課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5) リサーチのまとめ、(6) 中間発表会、(7) リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8) 立案したプランの実施準備(日程)、(9) 立案したプランの実施準備(方法)、(10) 最終発表会	平成27年度までの「創造的復興特別演習I」に相当。創造的復興：チャレンジ学外特別演習と併せて履修すること。 OATTX01と同一。 対面
01EB082	創造的復興：チャレンジ学外特別演習I	2	2.0	1	秋ABC	随時	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暉, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ：創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、複眼的視点で復興支援を捉えることの出来る情報発信力、つなぐ力、突破力を備えた人材の育成を目標とする。 授業の概要：地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画：「創造的復興：ローカルデザイン特別演習I」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実施する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す) (1) 「創造的復興：ローカルデザイン特別演習II」における課題解決プランの確認、(2) 地域(人・場所・日程)との調整1、(3) 地域(人・場所・日程)との調整2、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について1、(6) イベント進行の確認、役割分担について2、(7) イベント実施場所における会場設置準備1、(8) イベント実施場所における会場設置準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設営1、(13) イベント会場の設営2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習I」に相当。創造的復興：ローカルデザイン特別演習Iと併せて履修すること。 OATTX11と同一。 対面

01EB084	創造的復興：ローカルデザイン特別演習II	2	2.0	2	秋AB	随時	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暎, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ: 「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において、地域・社会の課題解決を考え、創造的で柔軟な思考方法について学んだ。それらを継続しつつ地域・社会の課題解決に関わる新たな視点を獲得し、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけることを目的とする。 授業の概要: 「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2) プレインストリーミング、班分け、「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」で実施した活動の評価、(3) 課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4) 課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5) リサーチのまとめ、(6) 中間発表会、(7) リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8) 立案したプランの実施準備(日程)、(9) 立案したプランの実施準備(方法)、(10) 最終発表会	平成27年度までの「創造的復興特別演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習Iを履修済みのこと。創造的復興:国際発表学外特別演習と併せて履修すること。OATTX02と同一。 対面
01EB085	創造的復興:チャレンジ特別学外演習II	2	2.0	2	秋ABC	随時	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暎, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ: 「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得した。継続して課題に取り組み、複眼的視点で復興支援を捉えることの出来る情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を備えた人材の育成を目標とする。 授業の概要: 「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画: 「創造的復興:ローカルデザイン特別演習II」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実践する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す) (1) 「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」で実施した活動の評価、(2) 「創造的復興:ローカルデザイン特別演習II」における課題解決プランの確認、(3) 地域(人・場所・日程)との調整、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について、(6) イベント進行の確認、役割分担について、(7) イベント実施場所における会場設営準備1、(8) イベント実施場所における会場設営準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設営1、(13) イベント会場の設営2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習IIと併せて履修すること。OATTX12と同一。 対面
01EB086	創造的復興:国際学外演習	2	2.0	1・2	通年	随時		原 忠信	地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習Iまたは、創造的復興:ローカルデザイン特別演習IIと併せて履修すること。 対面
01EB063	大学を開くデザインプロデュース特講・演習A-I	2	1.5	1・2	春ABC	応談		渡 和由, 貝島 桃 代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習A-IIも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦奇数年度開講。 対面

01EB064	大学を開くデザインプロデュース特講・演習A-II	2	1.5	1・2	秋ABC	応談	渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習A-Iも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦奇数年度開講。対面
01EB065	大学を開くデザインプロデュース特講・演習B-I	2	1.5	1・2				複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習B-IIも合わせて履修することが望ましい。Web掲示板を参照のこと。西暦偶数年度開講。
01EB066	大学を開くデザインプロデュース特講・演習B-II	2	1.5	1・2				複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習B-Iも合わせて履修することが望ましい。Web掲示板を参照のこと。西暦偶数年度開講。対面
01EB026	デザイン特講C	1	1.0	1・2	秋BC	集中	渡 和由	環境デザインの主要な事例を取り上げ、実務的観点から諸問題を検討する。	教室・芸術学系棟B521 西暦奇数年度開講。対面
01EB067	芸術国際演習A	2	1.0	1・2	通年	随時	芸術専攻カリキュラム委員	海外での研究発表や作品制作・発表について事前・事後の演習を行う。	対面
01EB068	芸術国際演習B	2	1.0	1・2	通年	随時	芸術専攻カリキュラム委員	海外での研究発表や作品制作・発表について事前・事後の演習を行う。	対面

専門科目【芸術学領域群】【美術史領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB401	西洋近世美術史特講I-1	1	1.0	1・2	春AB	火5	5C302	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する講義。「受難伝」の図像を分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 「キリストのエルサレム入城」から「最後の晩餐」、(3) 「使徒たちへの暇乞い」から「菜園での祈り」、(4) 「キリストの捕縛」から「キリストの打擲」、(5) 「パリサイ人に告発されるキリスト」から「ピラトの前のキリスト」、(6) 「鞭打ち」から「カルヴァリオ」、(7) 「磔刑」から「十字架降下」、(8) 「埋葬」から「冥府への降下」、(9) 「我に触れるな」から「エマオへの道での邂逅」、(10) 総括	西暦奇数年度開講。OATTA01と同一。対面
01EB402	西洋近世美術史特講I-2	1	1.0	1・2	秋AB	火5	5C302	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する講義。キリストの生涯をめぐる図像を分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 降誕、洗礼、(3) 荒野の誘惑、十二使徒の選抜、(4) 山上の垂訓、(5) 変容、(6) 最後の晩餐、(7) 受難、(8) 磔刑、(9) 復活と昇天、(10) 総括	西暦奇数年度開講。OATTA02と同一。対面
01EB403	西洋近世美術史特講II-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史の特定課題に関する講義。15世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 15世紀ネーデルラント絵画のアイデンティティ、(3) 絵画とパトロン、(4) 注文主と図像形式、(5) 流行と様式批判、(6) 経済活動と技法、(7) コピーとレプリカ、(8) 祈念像、(9) 奉獻画、(10) 総括	西暦偶数年度開講。OATTA03と同一。

01EB404	西洋近世美術史特講II-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史の特定課題に関する講義。16世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 16世紀ネーデルラント絵画のアイデンティティ、(3) 絵画とマーケット、(4) 社会背景と主題、(5) 流行と様式批判、(6) 工房経営、(7) コピーとレプリカ、(8) ロマニズム、(9) 対抗宗教改革と美術、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 OATTA04と同一。 対面
01EB405	西洋近世美術史演習I-1	2	1.0	1・2	春AB	火6	5C302	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をととして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献輪読1、(3) 文献輪読2、(4) 文献輪読3、(5) 文献輪読4、(6) 文献輪読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦奇数年度開講。 OATTA05と同一。 対面
01EB406	西洋近世美術史演習I-2	2	1.0	1・2	秋AB	火6	5C302	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世ないし近代の美術に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をととして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世ないし近代美術史における特定課題に関する演習。西欧近世ないし近代の美術を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献輪読1、(3) 文献輪読2、(4) 文献輪読3、(5) 文献輪読4、(6) 文献輪読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦奇数年度開講。 OATTA06と同一。 対面
01EB407	西洋近世美術史演習II-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術コレクションに関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をととして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術コレクションを多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献輪読1、(3) 文献輪読2、(4) 文献輪読3、(5) 文献輪読4、(6) 文献輪読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦偶数年度開講。 OATTA07と同一。 対面
01EB408	西洋近世美術史演習II-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:近代における西洋近世美術の展示に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をととして、理解を深める。 授業の概要:西洋美術史における特定課題に関する演習。近代における西欧近世美術の展示を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献輪読1、(3) 文献輪読2、(4) 文献輪読3、(5) 文献輪読4、(6) 文献輪読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦偶数年度開講。 OATTA08と同一。 対面
01EB409	近・現代美術論特講I-1	1	1.0	1・2	春AB	木3	5C302	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。 授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「美術における身体」をテーマに講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 裸体画の美術史1 西洋1、(3) 裸体画の美術史2 西洋2、(4) 裸体画の美術史3 日本1、(5) 裸体画の美術史4 日本2、(6) 「美人」の美術史1 日本1、(7) 「美人」の美術史2 日本2、(8) 「サイボーグ・フェミニズム」以後1、(9) 「サイボーグ・フェミニズム」以後2、(10) 総括	西暦奇数年度開講。 OATTA11と同一。 対面

01EB410	近・現代美術論特講I-2	1	1.0	1・2	秋AB	木3	5C301	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。 授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「国家を表象する女神像」をテーマに講述する。 授業計画:(1) 国家を表象する女神像の考察1 フランス:マリアンヌ、(2) 国家を表象する女神像の考察2 イギリス:ブリタニア、(3) 国家を表象する女神像の考察3 ドイツ:ゲルマニア、(4) 日本を表象する図像の考察1 天皇の肖像、(5) 日本を表象する図像の考察2 皇后の肖像、(6) 日本を表象する図像の考察3 古代神話の女神像、(7) 倭姫命について1、(8) 倭姫命について2、(9) 倭姫命について3、(10) 倭姫命について4 アンヌ	西暦奇数年度開講。 OATTA12と同一。 対面
01EB411	近・現代美術論特講II-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。 授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史と省庁、官僚」をテーマとする。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 日本近代美術史と省庁1、(3) 日本近代美術史と省庁2、(4) 内務省および内務官僚と美術1、(5) 内務省および内務官僚と美術2、(6) 「官製日本美術史」の形成1、(7) 「官製日本美術史」の形成2、(8) 「国宝」の政治学1、(9) 「国宝」の政治学2、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 OATTA13と同一。
01EB412	近・現代美術論特講II-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。 授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史における《地域美術史》」をテーマとする。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) ローカル・アートヒストリー(地域美術史)とは、(3) 地域美術史1 地方都市の画塾、(4) 地域美術史2 近・現代の画家1、(5) 地域美術史3 近・現代の画家2、(6) 地域美術史4 地方のコレクターとそのネットワーク、(7) 地域美術史5 地方における近・現代の美術史家、(8) 地域美術史に関する研究の動向、(9) 地域美術史に関する展覧会の動向、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 OATTA14と同一。 対面
01EB413	近・現代美術論演習I-1	2	1.0	1・2	春AB	木4	5C302	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:近・現代の美術に関する英語の文献講読により近・現代の美術に関する理解を深め問題意識を高める。 授業の概要:近・現代美術史における特定の課題に関する演習。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、学生プロフィール記入、(2) 近・現代美術史に関する資料および作品へのアプローチについて、(3) 文献輪読1、(4) 文献輪読2、(5) 文献輪読3、(6) 文献輪読4、(7) 文献輪読5、(8) 文献輪読6、(9) 文献輪読7、(10) 文献輪読8	西暦奇数年度開講。 OATTA15と同一。 対面
01EB414	近・現代美術論演習I-2	2	1.0	1・2	秋AB	木4	5C301	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:日本美術史に関して明治政府が発行した外国語文献を講読し、翻訳および註釈を付けることにより、近代日本の対外美術戦略の一端を明らかにする。 授業の概要:美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。 授業計画:(1) 翻訳と註釈の進め方について、(2) 翻訳と註釈の発表と全体討議1、(3) 翻訳と註釈の発表と全体討議2、(4) 翻訳と註釈の発表と全体討議3、(5) 翻訳と註釈の発表と全体討議4、(6) 翻訳と註釈の発表と全体討議5、(7) 翻訳と註釈の発表と全体討議6、(8) 翻訳と註釈の発表と全体討議7、(9) 翻訳と註釈の発表と全体討議8、(10) 翻訳・解題の出版に関する編集会議	西暦奇数年度開講。 OATTA16と同一。 対面

01EB415	近・現代美術論演習II-1	2	1.0	1・2						授業の到達目標及びテーマ:近・現代の美術に関して各自が設定したテーマについて研究発表することにより近・現代の美術に関する理解を深め問題意識を高める。 授業の概要:近・現代美術史における特定の課題に関する演習。各自の見解を明確にした上で最新の研究成果をふまえた発表を求め。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、学生プロフィール記入、(2) 近・現代美術史に関する資料および作品へのアプローチについて、(3) 教員による研究発表、(4) 発表演習1、(5) 発表演習2、(6) 発表演習3、(7) 発表演習4、(8) 発表演習5、(9) 発表演習6、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 OATTA17と同一。
01EB416	近・現代美術論演習II-2	2	1.0	1・2						授業の到達目標及びテーマ:日本美術史に関して明治政府が発行した外国語文献を講読し、翻訳および註釈を付けることにより、近代日本の文化財保護政策の一端を明らかにする。 授業の概要:美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。 授業計画:(1) 翻訳と註釈の進め方について、(2) 翻訳と註釈の発表と全体討議1、(3) 翻訳と註釈の発表と全体討議2、(4) 翻訳と註釈の発表と全体討議3、(5) 翻訳と註釈の発表と全体討議4、(6) 翻訳と註釈の発表と全体討議5、(7) 翻訳と註釈の発表と全体討議6、(8) 翻訳と註釈の発表と全体討議7、(9) 翻訳と註釈の発表と全体討議8、(10) 翻訳・解題の出版に関する編集会議	西暦偶数年度開講。 OATTA18と同一。 対面
01EB417	西洋古代美術史特講I-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	5C308	長田 年弘, 武田 一文	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と宗教について講義を行う。公的な建造物、神殿と附属彫刻を中心に講義を行う。	西暦奇数年度開講。 OATTA21と同一。 対面	
01EB418	西洋古代美術史特講I-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	5C308	長田 年弘, 武田 一文	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と宗教について講義を行う。私的な領域、奉納記念物と葬礼美術を中心に講義を行う。	西暦奇数年度開講。 OATTA22と同一。 対面	
01EB419	西洋古代美術史特講II-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と社会について講義を行う。アルカイックからクラシック期の、僭主政治から民主政成初期にかけての、政治体制と美術を中心に講義を行う。	西暦偶数年度開講。 OATTA23と同一。	
01EB420	西洋古代美術史特講II-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と社会について講義を行う。クラシック期からヘレニズム期にかけての美術を中心に講義を行う。	西暦偶数年度開講。 OATTA24と同一。 対面	
01EB421	西洋古代美術史演習I-1	2	1.0	1・2	春AB	火4	5C308	長田 年弘, 武田 一文	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に公的な建造物、神殿と附属彫刻を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 OATTA25と同一。 対面	

01EB422	西洋古代美術史演習I-2	2	1.0	1・2	秋AB	火4	5C308	長田 年弘, 武田 一文	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に私的な領域、奉納記念物と葬礼美術を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 OATTA26と同一。 対面
01EB423	西洋古代美術史演習II-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、アルカイックからクラシック期の、僭主政治から民主政成立期にかけての政治体制と美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。 OATTA27と同一。
01EB424	西洋古代美術史演習II-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、クラシック期からヘレニズム期にかけての美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。 OATTA28と同一。 対面
01EB425	日本美術史特講I-1	1	1.0	1・2	春AB	木5	5C308	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。 授業計画:(1) 近世初頭の美術と表現について1、(2) 近世初頭の美術と表現について2、(3) 近世初頭の美術と表現について3、(4) 近世風俗画について1、(5) 近世風俗画について2、(6) 初期の浮世絵、(7) 美人画と役者絵、(8) 錦絵について、(9) 北斎と広重、(10) ジャポニズム	西暦奇数年度開講。 OATTA31と同一。 対面
01EB426	日本美術史特講I-2	1	1.0	1・2	秋AB	木5	5C308	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。 授業計画:(1) 日本絵画における特定課題の講義、(2) 近世初頭の美術と表現について1、(3) 近世初頭の美術と表現について2、(4) 琳派の表現1、(5) 琳派の表現2、(6) 琳派の表現3、(7) 琳派の継承1、(8) 近代日本画1 文展、(9) 近代日本画2 美術院、(10) 日本の絵画の特質について	西暦奇数年度開講。 OATTA32と同一。 対面
01EB427	日本美術史特講II-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:近世初頭の風俗画から浮世絵の成立、大正新版画までを対象に代表作を通して、我が国を代表する浮世絵を考察する。 授業計画:(1) 初期風俗画について、(2) 都市の成立と人物表現について、(3) 歌舞伎と役者絵について、(4) 版画技法と表現の変化について、(5) 絵巻交換会について、(6) 大首絵とその代表的絵師、(7) 出版の統制について、(8) 風景表現について、(9) 明治期の浮世絵について、(10) 大正新版画について	西暦偶数年度開講。 OATTA33と同一。
01EB428	日本美術史特講II-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:特定美術作品について、時代様式や背景となる事象を通して、美術作品が歴史的に評価され、伝来している意味を解釈し、研究的な視点を養うことを目的とする。 授業の概要:仏教美術の諸相を代表作を通して鑑賞し、時代様式について考える。 授業計画:(1) 仏教美術の彫刻表現について1、(2) 仏教美術の彫刻表現について2、(3) 仏教美術の彫刻表現について3、(4) 仏教寺院の内陣の構想について1、(5) 仏教寺院の内陣の構想について2、(6) 仏教寺院の内陣の構想について3、(7) 仏教美術の大陸からの受容のあり方について1、(8) 仏教美術の大陸からの受容のあり方について2、(9) 仏教美術の国風的表現について1、(10) 仏教美術の国風的表現について2	西暦偶数年度開講。 OATTA34と同一。 対面

01EB429	日本美術史演習I-1	2	1.0	1・2	春AB	木6	5C308	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の文献史料)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1)文献史料調査(写真撮影)の方法、(2)文献史料の調査1、(3)文献史料の調査2、(4)文献史料の調査3、(5)文献史料の調査4、(6)調査史料のディスカッション、(7)文献史料の補完調査1、(8)文献史料の補完調査2、(9)文献史料の調査と研究視点、(10)文献史料の総合的な検討を行う	西暦奇数年度開講。 OATTA35と同一。 対面
01EB430	日本美術史演習I-2	2	1.0	1・2	秋AB	木6	5C308	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(文献史料)を講読し、研究視点を構築する。 授業計画:(1)文献史料講読の方法、(2)文献史料の講読1、(3)文献史料の講読2、(4)文献史料の講読3、(5)文献史料の講読4、(6)文献史料の講読5、(7)文献史料の講読6、(8)文献史料の講読7、(9)文献史料の講読8、(10)文献史料の総合的な検討を行う	西暦奇数年度開講。 OATTA36と同一。 対面
01EB431	日本美術史演習II-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1)実際の作品の調査のあり方について、(2)作品調査の方法について、(3)第1回調査、(4)調査作品についてのディスカッション、(5)調査作品のディスクリプション、(6)第2回調査(第1回調査の補完を行う)、(7)調査報告のあり方について、(8)先行研究について、(9)資料調査と研究視点、(10)総合的な解釈	西暦偶数年度開講。 OATTA37と同一。
01EB432	日本美術史演習II-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1)作品調査1、(2)作品調査2、(3)研究主題に基づき、検討を加える1、(4)研究主題に基づき、検討を加える2、(5)先行研究について、検討を加える1、(6)先行研究について、検討を加える2、(7)研究主題について、口頭発表し、検討する1、(8)研究主題について、口頭発表し、検討する2、(9)研究主題について、口頭発表し、検討する3、(10)研究主題の総合的な検討を行う。	西暦偶数年度開講。 OATTA38と同一。 対面
01EB443	美術史学外演習I	2	2.0	1	秋ABC			林 みちこ、水野裕史、長田 年弘、寺門 臨太郎、武田 一文	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	OATTA41と同一。 その他の実施形態
01EB444	美術史学外演習II	2	2.0	2	秋ABC			林 みちこ、水野裕史、長田 年弘、寺門 臨太郎、武田 一文	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	OATTA42と同一。 その他の実施形態
01EB301	美術史領域特別研究	2	3.0	2	通年			長田 年弘、寺門 臨太郎、林 みちこ、水野 裕史、武田 一文	美術史における特定課題に関する特別研究。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 オンライン(同時双方向型)

専門科目【芸術学領域群】【芸術支援領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB135	芸術支援学学外演習I	2	1.5	1	通年	随時		直江 俊雄、石崎和宏、吉田 奈穂子	芸術支援活動の現場(美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等)での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。	対面
01EB451	芸術学習支援演習A	4	1.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
01EB452	芸術学習支援演習B	4	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄、吉田 奈穂子	ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
01EB479	芸術学習支援論A	1	2.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの実践について学び、芸術学習支援活動を企画運営するための基礎力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
01EB480	芸術学習支援論B	1	2.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄、吉田 奈穂子	ビジュアル・シンキング・ストラテジーの実践について学び、芸術学習支援活動を企画運営するための基礎力を養う。	西暦奇数年度開講。 対面
01EB481	芸術支援学学外演習II	2	1.5	2	通年	随時		直江 俊雄、石崎和宏、吉田 奈穂子	芸術支援活動の現場(美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等)での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。	対面

01EB482	芸術支援ワークショップI	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アールライター大賞」に学生選考委員として参加し、アールライティング教育の実践を支援しながら、芸術支援における言葉の役割を考える。 授業計画:(1) 日本の美術・デザイン・工芸教育の特色と課題、(2) 日本と英国の中等美術教育におけるアールライティングの比較、(3) アールライティング教育の意義と方法、(4) 高校生アールライター大賞の目的、歴史、運営、(5) 高校生アールライター大賞の選考基準、(6) 過去受賞作品の検討、(7) 選考過程リハーサル、(8) 第一次選考作品の検討、(9) 第一次選考作品の評価、(10) 本授業の成果と課題	OATTB31と同一。対面
01EB483	芸術支援ワークショップII	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アールライター大賞」に学生選考委員として参加し、アールライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。 授業計画:(1) 「制作体験」のアールライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「表現」、(2) 「作品探究」のアールライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「鑑賞」、(3) 「芸術支援」のアールライティングと美術・デザイン・工芸の学習の社会的視点、(4) 高校生アールライター大賞の参加者の意識、(5) 高校生アールライター大賞に参加した指導者の意識、(6) 選考過程リハーサル、(7) 第二次選考作品の検討、(8) 第二次選考作品の評価、(9) 筑波大学学生賞の選考、(10) 本授業の成果と課題	OATTB32と同一。対面
01EB484	芸術教育方法論A-1	1	1.0	1・2				授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、比較教育の視点からの探究事例を論じる。 授業計画:(1) 美術教育の比較研究(日本)、(2) 美術教育の比較研究(英国ほか)、(3) デザイン教育の比較研究(日本)、(4) デザイン教育の比較研究(英国ほか)、(5) 工芸教育の比較研究(日本)、(6) 工芸教育の比較研究(英国ほか)、(7) 鑑賞教育の比較研究(日本)、(8) 鑑賞教育の比較研究(英国ほか)、(9) 教員養成の比較研究(日本)、(10) 教員養成の比較研究(英国ほか)	平成27年度までの「芸術教育方法論A」に相当 西暦偶数年度開講。 OATTB11と同一。
01EB485	芸術教育方法論A-2	1	1.0	1・2				授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、より適切な解釈を提示できる能力の育成を目指して、文献資料の収集と整理、解説、要約、問題点の提示、討論、論述などを行う。 授業計画:(1) 研究データベースについて(国内の事例)、(2) 研究データベースについて(海外の事例)、(3) 学術論文のレビューについて、(4) 国内の主要な研究動向、(5) 海外の主要な研究動向、(6) 研究目的、方法、結果の相互関連、(7) 関連研究の把握と独自性の探究、(8) 調査方法の概観、(9) 調査方法の信頼性と妥当性、(10) プレゼンテーション技法	平成27年度までの「芸術教育方法論A」に相当 西暦偶数年度開講。 OATTB12と同一。 対面

01EB486	芸術教育方法論B-1	1	1.0	1・2	春AB	木4	芸術 B139	直江 俊雄	授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究方法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、主として19世紀後半から現在までの英国における中等教育の変革を事例として論じる。 授業計画:(1) 芸術教育方法研究の概観(美術思想とのかかわり)、(2) 芸術教育方法研究の概観(教育思想とのかかわり)、(3) 芸術教育方法研究の概観(社会的諸制度とのかかわり)、(4) 芸術教育方法研究の概観(理念と方法論の関係)、(5) 芸術教育方法研究の概観(成果と課題)、(6) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの基本理念)、(7) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(8) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(9) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(10) 芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの課題)	平成28年度までの「芸術教育方法論B」に相当。 OATB13と同一。 対面
01EB487	芸術教育方法論B-2	1	1.0	1・2	秋AB	木4	6B203	吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究方法確立へ向けての準備とする。 授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、芸術思想、教育思想、社会的諸制度などの背景を含めて理解し、その探究から導かれる諸問題について多角的に考察する。 授業計画:(1) 研究課題と方法の設定(テーマの選択)、(2) 研究課題と方法の設定(テーマと方法の妥当性の検討)、(3) 研究課題と方法の設定(研究の構造化)、(4) 研究課題と方法の設定(全体構想の図式化)、(5) 資料収集と分析(収集法)、(6) 資料収集と分析(先行研究の成果)、(7) 資料収集と分析(先行研究の限界)、(8) 資料収集と分析(研究の位置づけの明確化)、(9) 資料解釈と論文構成(問題の所在)、(10) 資料解釈と論文構成(目的の明確化)	平成28年度までの「芸術教育方法論B」に相当。 OATB14と同一。 対面
01EB489	芸術科教育特講a	1	1.0	1・2					芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、芸術教育におけるディプリンや今日的課題、〈新しい能力〉概念と芸術教育、芸術教育における能力観、芸術教育におけるイメージリテラシー、学習科学と芸術教育等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。	西暦偶数年度開講。 01B9502、OATAJ01と同一。 2021年度開講せず。
01EB490	芸術科教育特講b	1	1.0	1・2					芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、描画表現における発達、表現・鑑賞学習への動機づけ、芸術学習における転移、芸術学習におけるメタ認知、鑑賞スキルとその発達等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。	西暦偶数年度開講。 01B9503、OATAJ02と同一。 2021年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
01EB491	芸術科教育実践論演習a	2	1.0	1・2	春AB	水3		石崎 和宏、笠原 広一	近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、仮説と理論の関係、リサーチクエスションの設定、分析ワークシートの作成、理論生成のプロセス等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	教室:芸術B234。対面、ただし状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦奇数年度開講。 01B9504、OATAJ03と同一。

01EB492	芸術科教育実践論演習b	2	1.0	1・2	秋AB	水3	石崎 和宏	近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、協同学習における理解深化プロセス、パフォーマンス評価による学びの可視化、対話型鑑賞における鑑賞者同士の学習支援等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。	西暦奇数年度開講。 01B9505、OATAJ04と同一。
01EB493	芸術鑑賞論a-1	1	1.0	1・2				芸術鑑賞の教育研究に関わる先行文献をレビューし、それらで検討された具体的な研究方法と得られた知見について考察し、鑑賞教育研究の多面的な方法を理解することを目標とする。そのために、芸術鑑賞に関わる各自のリサーチアクションに基づいた独自の調査方法をパイロットスタディとして開発し、その分析結果と考察を発表し、レポート(論文形式)でまとめる。	西暦偶数年度開講。 01B9573、OATAJ05と同一。 2021年度開講せず。
01EB494	芸術鑑賞論a-2	1	1.0	1・2				人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞に関する方略的な知見を習得し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方法を開発できることを目標とする。そのために、芸術作品の鑑賞プロセスでの思考や概念の変化を事例ごとにマッピングし、パーソンズ(Parsons, M.)の発達理論と対比しつつ、芸術鑑賞におけるスキルやメタ認知のつらえ方について、鑑賞文からのスキル分析や鑑賞における思考の構造化の視点から検討し、芸術教育における実践への具体化を考察する。	西暦偶数年度開講。 01B9574、OATAJ06と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EB495	芸術鑑賞論b-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	石崎 和宏, 王文純	人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞における協同学習の知見を理解し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方法を開発できることを目標とする。そのために、芸術鑑賞における解釈や判断等の思考過程に注目し、その過程で葛藤やジレンマ、意味の生成、論争などを促す方法について検討する。さらに美学的な思考の深化を促す美的判断ジレンマやArt as Therapyのプランを立案・実践し、議論する。	教室：芸術B234。対面、ただし状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦奇数年度開講。 01B9575、OATAJ07と同一。
01EB496	芸術鑑賞論b-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	石崎 和宏	鑑賞教育研究の方法論やユニークな方策について理解し、各自の研究に生かす独自の調査方法や研究ツールを開発することができることを目標とする。そのために、芸術鑑賞教育研究に関わる先行研究をレビューし、美術鑑賞プロフィール(AAP)、パフォーマンス評価、対話による鑑賞活動、協同学習を取り入れた鑑賞などの具体的な知見から研究方法を考察し、鑑賞教育研究の方法論について全般的に理解を深め、各自の研究における独自の調査方法をそれぞれが開発する。	教室：芸術B234。対面、ただし状況によりオンライン(同時双方向型)に変更の可能性あり。 西暦偶数年度開講。 01B9576、OATAJ08と同一。
01EB497	芸術支援ワークショップIII	2	1.0	1・2	春ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートのライターの賞」に学生選考委員として参加し、アートライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。 授業計画:(1)オリエンテーション、(2)ワークショップ活動の企画、(3)アートライティング学習の評価方法、(4)アートライティング学習の奨励方法、(5)アートライティング学習支援の実践、(6)アートライティング学習支援メッセージの作成、(7)アートライティング学習による交流支援の計画、(8)アートライティング学習による交流支援の実施、(9)アートライティング学習による交流支援の評価、(10)本授業の成果と課題	OATTB33と同一。 対面
01EB146	芸術支援領域特別演習	2	3.0	1	通年	応談	直江 俊雄, 石崎 和宏, 吉田 奈穂子	芸術支援領域に関する特別演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	対面
01EB302	芸術支援領域特別研究	2	3.0	2	通年	応談	直江 俊雄, 石崎 和宏, 吉田 奈穂子	論文作成について、受講者が設定したテーマに即して指導する。明確な論理と独自性のある主張を備えた論文の実現を目指す。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面

専門科目【芸術学領域群】【洋画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EB809	洋画特別制作A-1	3	1.5	2	春ABC	月2,3	6B404, 6B405	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。	洋画制作を履修済みであること 対面
01EB810	洋画特別制作A-2	3	1.5	2	秋ABC	月2,3	6B404, 6B405	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。	洋画特別制作A-1を履修済みのこと。 対面
01EB811	洋画特別制作B-1	3	1.5	2	春ABC	火2,3	6B404, 6B405	星 美加	秋学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。 修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に継続的に制作をおこなう。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。	対面
01EB812	洋画特別制作B-2	3	1.5	2	秋ABC	火2,3	6B404, 6B405	星 美加	本学開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の錬磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。 修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に課題制作を継続する。 修了研究(作品及び研究報告書)の作成。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。	洋画特別制作B-1を履修済みのこと。 対面
01EB813	洋画特別制作C-1	3	1.5	2	春ABC	木4,5	6B404, 6B405	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。	対面
01EB814	洋画特別制作C-2	3	1.5	2	秋ABC	木4,5	6B404, 6B405	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。	洋画特別制作C-1を履修済みのこと。 対面
01EB815	洋画特別制作D-1	3	1.5	2	春ABC	金4,5	6B404, 6B405	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。	対面
01EB816	洋画特別制作D-2	3	1.5	2	秋ABC	金4,5	6B404, 6B405	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。	洋画特別制作D-1を履修済みのこと。 対面
01EB224	洋画野外風景実習	3	1.0	1・2	春ABC	随時		内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美	授業の到達目標及びテーマ:屋外において自然風景の写生に取り組み、風景画制作の実践のための手立てと描画方法を習得して、受講者個々の描写力・表現力を高める。 授業の概要:自然に学ぶ態度を培い、観察力や洞察力に基づく描写力を高めて、独創的な絵画表現のための礎となるよう風景画制作における受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。 授業計画:(1)ガイダンス、(2)風景画制作1 構図、(3)風景画制作2 明暗、(4)風景画制作3 色彩、(5)風景画制作4 形態・量感・質感、(6)風景画制作5 空間・奥行き、(7)風景画制作6 マチエール、テクスチャ、(8)風景画制作7 筆致、(9)風景画制作8 技法・材料と表現、(10)風景画制作9 作品講評、作品展示	OATTC41と同一。 対面
01EB303	洋画領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		内藤 定壽, 仏山 輝美, 田島 直樹, 福満 正志郎, 星 美加	各自の設定したテーマに基づき、洋画の修了研究の指導を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面
01EB835	版画特別制作-1	3	1.5	2	春ABC	木4,5		田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。	対面
01EB836	版画特別制作-2	3	1.5	2	秋ABC	木4,5	6A105, 工房 C204	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。	版画特別制作-1を履修済みのこと。 対面

専門科目【芸術学領域群】【日本画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB304	日本画領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	各自の設定したテーマに基づき、日本画の修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面

専門科目【芸術学領域群】【彫塑領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EB270	彫塑特別制作A	3	1.0	2	春AB	月2 月3	6A102, 6A103, 6A104, 6A102, 6A104, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、 彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と素材に 関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを 設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につ ける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑 芸術における素材とフォルムの関係を探究する。彫 塑特別制作B'Dと連動して、彫塑表現の多様性を 考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の 研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定 したテーマによる制作(実際の素材に対して、心 構組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を 行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限 る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A 114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 OATTF51と同一。 対面
01EB271	彫塑特別制作B	3	1.0	2	春AB	月4, 5	6A102, 6A104, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、 彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と技法に 関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを 設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につ ける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑 芸術における技法と素材の関係を探究する。彫塑特 別制作A, C, Dと連動して、彫塑表現の多様性を考 察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の 研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定 したテーマによる制作(実際の素材に対して、心 構組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を 行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限 る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A 114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 OATTF52と同一。 対面
01EB272	彫塑特別制作C	3	1.0	2	春AB	水2, 3	6A102, 6A104, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、 彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得とフォル ムに関わる造形理論の構築を目指す。各自でテー マを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身 につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑 芸術におけるフォルムと空間の関係を探究する。彫 塑特別制作A, B, Dと連動して、彫塑表現の多様性 を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の 研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定 したテーマによる制作(実際の素材に対して、心 構組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を 行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限 る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A 114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 OATTF53と同一。 対面
01EB273	彫塑特別制作D	3	1.0	2	春AB	金4, 5	6A102, 6A104, 6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、 彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と空間性 に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテー マを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身 につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑 芸術における空間性について探究する。彫塑特別 制作A'Cと連動して、彫塑表現の多様性を考察す る。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の 研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定 したテーマによる制作(実際の素材に対して、心 構組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を 行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限 る。 教室: 6A102, 6A103, 6A104, 6A 114, 6A115, C109, C110, 作業コート他 OATTF54と同一。 対面
01EB274	彫塑特別制作E	3	1.0	2	春AB	木4, 5	6A102, 6A104, 6A103	大原 央聡, 川島 史也	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選 択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作 研究を行う。	彫塑領域の学生に限 る。 対面
01EB275	彫塑特別制作F	3	1.0	2	春AB	金2 金3	6A102, 6A103, 6A104, 6A102, 6A104, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選 択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作 研究を行う。	彫塑領域の学生に限 る。 対面
01EB276	彫塑特別制作G	3	1.0	2	春AB	木2, 3	6A102, 6A104, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選 択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作 研究を行う。	彫塑領域の学生に限 る。 対面
01EB305	彫塑領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	各自の設定したテーマに基づき、彫塑の修了研究 を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応。 対面 彫塑領域の学生に限 る。

専門科目【デザイン学領域群】【構成領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履 修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	------------	------	-----	----	------	------	----

01EB514	平面・立体構成論特講	1	1.0	1・2	春AB	木5	6A203	上浦 佑太	色・形・素材等の基本要素に着目し、様々な分野の造形作品を構成学的視座から読み解く。	対面
01EB515	平面・立体構成演習A	2	2.0	1・2					設定されたテーマに沿って作品を制作する。先行事例の考察を踏まえて実験的なアプローチで制作に臨むことで、表現を開拓する姿勢を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
01EB516	平面・立体構成演習B	2	2.0	1・2	秋ABC	木5, 集中	6A203	上浦 佑太	設定されたテーマに沿って作品を制作する。先行事例の考察を踏まえて実験的なアプローチで制作に臨むことで、表現を開拓する姿勢を養う。	西暦奇数年度開講。 対面
01EB701	構成領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時	6A203	山本 早里, 大友 邦子, 上浦 佑太	各自のテーマに基づき修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面

専門科目【デザイン学領域群】【総合造形領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB528	現代アート表現論	1	1.5	1・2	春ABC	火5	5C205	小野 裕子	現代アートの知見を踏まえて、その動向を調査する。多領域の学生の意見を交えながら自身の研究と比較して、各自の研究に反映させていく。	オンライン(同時双方 対面)
01EB529	現代アート表現演習	2	1.5	1・2	秋ABC	火5	6B101, 5C205	小野 裕子	現代アートの動向を調査し、各自の研究を深め、実験制作を行う。	オンライン(同時双方 対面)
01EB530	メディア表現論	1	1.5	1・2	春ABC	火4	5C205	村上 史明	現代のメディア技術について調査し、ディスカッションを行う。	オンライン(同時双方 対面)
01EB531	メディア表現演習	2	1.5	1・2	秋ABC	火4	5C205	村上 史明	メディアアートに関する制作活動の裏づけとなる資料を調査・整理・考察するとともに、各自が設定した課題に基づく作品の制作を行う。	対面
01EB532	現代美術論	1	1.5	1・2	秋ABC	火1	5C404	國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を論じる。テキストの講読とレポート添削を行う。	対面
01EB533	現代美術演習	2	1.5	1・2	春ABC	随時		國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を考えた討論を行い、一つの展覧会を立ち上げる。	対面
01EB527	総合造形領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	総合造形の視点から討議を行い、個展を計画・準備し、実施する。研究倫理についても理解を深める。	対面
01EB702	総合造形領域特別研究	2	3.0	2	通年	火6	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	修了制作・修士論文の作成を中心とした、個々の研究指導を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面

専門科目【デザイン学領域群】【ビジュアルデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB561	視覚伝達設計論特講	1	1.0	1・2	秋ABC	随時	6A208	原 忠信	視覚伝達デザインにおける遊戯性についてとりあげ、ワークショップ、ゲームなど参加型の授業を通じて課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力を養う。遊びとデザインを主題に、関連する作家、方法、ケーススタディについての概説、およびワークショップを行い、プレゼンテーションでは履修生が考案したワークショップやゲームを実施する。 授業計画: (1) [オリエンテーション]授業全体の説明、(2) プレインストーミングとゲームストーミング、(3) 子供の遊び、(4) 大人の遊び、(5) 経験設計の概念、(6) ユーザーエクスペリエンスとサービスデザイン、(7) 遊び体験のデザイン、(8) ワークショップ、ゲーム発表(グループ1)、(9) ワークショップ、ゲーム発表(グループ2)、(10) ワークショップ、ゲーム発表(グループ3)	OATTL01と同一。 対面
01EB569	視覚伝達設計演習A	2	1.0	1・2	春AB	木2	6A208-1	原 忠信	プラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。	対面
01EB570	視覚伝達設計演習B	2	1.0	1・2	春C	木1, 2	6A208-1	原 忠信	プラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。	対面

01EB575	グラフィックデザイン 論特講	1	1.0	1・2	春AB	木4	5C504	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づく、ビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、専門的で高度なビジュアルデザインの考察力を身につける。 課題1:タイポグラフィとレイアウト[名刺のデザイン] 課題2:プレゼンテーション用スライドデータのビジュアルデザイン[自己紹介と研究紹介] 課題3:未定 授業計画: (1)[オリエンテーション]授業全体の説明、課題1、2の説明 (2)[課題1]名刺タイポグラフィとレイアウト[名刺のデザイン]の提出・プレゼン・講評 (3)(4)(5)(6)[課題2]ビジュアル・プレゼンテーション[自己紹介と研究紹介] (7)[課題3]課題説明・質疑応答 (8)[課題3]プランの提出・発表・講評 (9)[課題3]最終デザイン作品の提出・発表・講評	対面
01EB576	グラフィックデザイン 演習	2	1.0	1・2	春AB	木4	5C514	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づく、ビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、専門的で高度なビジュアルデザインの考察力を身につける。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[課題1]書体・レイアウトに関する講義とミニレポートの提出、(3)[課題1]名刺(タテ型)課題の提出と講評、(4)[課題1]名刺(ヨコ型)課題の提出と講評、(5)[課題2]研究発表用スライドのビジュアルデザインに関する講義、(6)[課題2]グループAのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(7)[課題2]グループBのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(8)[課題2]グループCのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(9)[課題3]アイデアスケッチのチェック、(10)[課題3]途中経過のチェック、(11)[課題3]完成作品の提出・プレゼンテーション、講評、(12)[課題4]収集資料の確認、(13)[課題4]アイデアスケッチのチェック	OATTL21と同一。 対面
01EB577	画像表現論特講	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	6A203	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチャーなどを横断的に探索しつつ、画像表現(絵による表現)の特質、意義、可能性について理解を深めること。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[テーマ1]アートトーク1、(3)[テーマ2]「物語」に関する調査1、(4)[テーマ2]物語構造について、(5)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アンジュール』、(6)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アライバル』1、(7)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アライバル』2、(8)[テーマ3]言葉のない絵本精読『赤ずきん』絵本、(9)[テーマ4]多種多様な表現手法、(10)[テーマ5]マンガ文献精読、(11)[テーマ5]マンガ文献精読2、(12)[テーマ6]マンガの文体練習、(13)[テーマ7]物語表現考察1、(14)[テーマ7]物語表現考察2、(15)7つのテーマから一つ選び、レポート提出	OATTL31と同一。 対面
01EB578	画像表現演習	2	1.0	1・2	秋AB	火3	6A203	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチャー等多様に広がる画像表現(絵による表現)について、制作を通してその可能性を探る。受講者の研究テーマに応じた制作を行い、幅広い画像表現について理解を深める。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[課題1]小説のマンガ化、(3)[課題1]講評、(4)[課題2]画像による物語表現、(5)[課題2]プランチェック、(6)[課題2]絵コンテチェック、(7)[課題2]タミーチェック、(8)[課題2]進捗状況発表、(9)[課題2]進捗状況発表、(10)[課題2]講評	OATTL41と同一。 対面
01EB579	フォトメディア論特講	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C302	MCLEOD Roderick	フォトメディアの現代的な問題を探究し、研究のためにカメラを使用する際の特徴、意義、可能性について検討します。 Exploring contemporary issues in photomedia, we will examine the characteristics, significance and possibilities of using cameras for research.	英語で授業。This class is in English. OATTL44と同一。 対面
01EB580	フォトメディア演習A	2	1.0	1・2	夏季休業中	随時		MCLEOD Roderick	フォトメディア(1826-1899)の歴史について、日光写真、カメラオプスキュラ、ピンホールカメラなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1826-1899) through practical tasks, such as making sunprints, camera obscuras, pinhole cameras.	英語で授業。This class is in English. 教室: B343, 6A304 OATTL42と同一。 対面

01EB581	フォトメディア演習B	2	1.0	1・2	秋AB	木5	6A208	MCLEOD Roderick	フォトメディア(1900-現代)の歴史について、ポラロイド、フィルム写真、デジタルメディアなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1900-today) through practical tasks, such as Polaroid, film photography, digital media.	英語で授業。This class is in English. OATTL43と同一。 対面
01EB568	ビジュアル・コミュニケーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		原 忠信, MCLEOD Roderick	実践的なビジュアル・コミュニケーションの発想力、制作力、評価方法を身につける。 学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたビジュアル・コミュニケーションの発想、制作、評価などについて学ぶ。 授業計画: (1) [オリエンテーション] 授業全体の説明、(2) [課題1] 「ビジュアル・コミュニケーションの発想力」に関する課題説明、(3) [課題1] 中間発表、(4) [課題1] 発表及び講評、(5) [課題2] 「ビジュアル・コミュニケーションの制作力」に関する課題説明、(6) [課題2] 中間発表、(7) [課題2] 発表及び講評、(8) [課題3] 「ビジュアル・コミュニケーションの評価方法」に関する課題説明、(9) [課題3] 中間発表、(10) [課題3] 発表及び講評	西暦奇数年度開講。英語で授業。This class is in English. OATTL51と同一。 対面
01EB567	ビジュアルデザイン領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		田中 佐代子, 原忠信, 山本 美希, MCLEOD Roderick	学生の自主的なテーマについて全体的および個別に研究指導する。研究倫理についても理解を深める。	対面
01EB704	ビジュアルデザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		田中 佐代子, 原忠信, 山本 美希, MCLEOD Roderick	修了研究へ向けて、全体的および個別に研究指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 対面

専門科目【デザイン学領域群】【環境デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB615	環境デザイン論特講	1	2.0	1・2	春C	随時	芸術 B441	渡 和由	授業の到達目標及びテーマ: 環境デザインの多様な課題と総合的な設計論について理解する。 授業の概要: 公共空間、商業・業務施設、住宅地における総合的なサイトプランニング手法とブレイスメイキング手法を論述。 授業計画: (1) 街路の課題と滞留環境のデザイン手法、(2) 公園の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(3) 公共施設の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(4) 商業施設の課題と公的利用環境のデザイン手法、(5) 業務施設の課題と創造的な仕事環境のデザイン手法、(6) 公的施設の課題と創造的な場づくりの手法、(7) 住宅団地の課題と共用環境のデザイン手法、(8) 住宅の課題とインテリア環境のデザイン手法、(9) ブレイスメイキングの実施と枠組み環境のデザイン手法、(10) 現代の環境デザインの多様性について	西暦奇数年度開講。OATTP01と同一。 対面
01EB619	建築・都市パッシブデザイン論特講	1	2.0	1・2	春AB	木4,5	5C301	橋本 剛	授業の到達目標及びテーマ: 「自然環境と調和した建築・都市デザイン」の実現に向け、そのための基礎理論と手法を理解し、習得する。 授業の概要: 建築及び都市におけるパッシブデザインの手法・原理・課題について講述する。 授業計画: (1) ガイダンス、(2) 屋根のデザイン、(3) 壁のデザイン、(4) 床の断熱・蓄熱、(5) 開口部と日射のコントロール、(6) 昼光の有効利用、(7) 換気と通風、(8) 地形の利用、(9) 樹木によるコントロール、(10) まとめ	西暦奇数年度開講。OATTP11と同一。 対面
01EB613	都市・地域設計論特講	1	2.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ: 現在の都市が抱える諸問題を実態的に把握し、都市づくりやまちづくりにおける計画や設計について、その果たすべき役割や責任を考察することにより、計画論としての複眼的な問題意識を確立するとともに、論理的な思考とその表現方法を獲得する。 授業の概要: 都市や地域におけるまちづくりの実態、計画・設計に関わる制度論や方法論について、ケーススタディを用いて考察と講述を行う。後半はテーマに応じた受講生の発表をもとに議論する。 授業計画: (1) 現在の都市が抱える様相と都市づくりの課題、(2) 中心市街地の実態、(3) 東京都心の問題、(4) 都市居住と居住環境、(5) 都市景観と居住環境、(6) 都市デザインと都市景観、(7) まちづくりと都市デザイン、(8) 都市計画と規制緩和、(9) 都市づくりの合意形成、(10) 都市の将来像	西暦偶数年度開講。OATTP21と同一。
01EB639	ランドスケープデザイン論特講	1	2.0	1・2					ランドスケープデザインに関する歴史から現代における意義や最新動向に至るまで、包括的な内容を講述する。	西暦偶数年度開講。

01EB634	環境デザイン演習	2	2.0	1	秋AB	木6, 集中	芸術 B441	藤田 直子, 渡 和由, 野中 勝利, 橋本 剛	授業の到達目標及びテーマ: 環境デザインに関する課題設定、コンセプト、構想、計画、デザインにかかる一連のプロセス、表現方法について習得する。 授業の概要: 環境デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。 授業計画: (1) 課題の提示、関連事例の解説、(2) 現地調査、敷地条件の確認、(3) 設計指導1(コンセプト、構想)、(4) 設計指導2(構想、計画)、(5) 設計指導3(基本計画・エスキス模型)、(6) 中間発表、講評、(7) 設計指導4(基本計画、設計)、(8) 設計指導5(基本設計)、(9) 設計指導6(基本設計、模型)、(10) 提出、発表、講評	OATP42と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EB626	環境デザイン領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由, 藤田 直子	環境デザインに関して、ゼミナール形式による演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	教室: 芸術学系棟B441 対面
01EB707	環境デザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由, 藤田 直子	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応。教室: 芸術学系棟B441 対面

専門科目【デザイン学領域群】【建築デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB708	建築デザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		花里 俊廣, 山田 協太, 貝島 桃代, 加藤 研	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応 その他の実施形態 一部をオンライン(同時双方向型)でおこない、一部を対面でおこなうことを予定している。

専門科目【デザイン学領域群】【複合領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB623	インターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談		山本 美希, 直江 俊雄, 橋本 剛, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	デザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。国内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。	対面